

第6週4月6日(晴れ)

清川村運動公園グランド

第1試合【2回戦】浜風2勝

白熱の投手戦、浜風が制する！

	(0)	(1)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	計	安打
湘南	0	0	0	0	0	0	0	0	(4)
浜風	1	0	0	0	0	0	x	1	(3)
	(2)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	審	五十嵐

【勝】 乙戸 2勝(1)

【敗】 柴田 1敗(1)

MVP：乙戸 V打点：乙戸

二墨打：乙戸（浜風）



7回完封と勝利打点 (乙戸)

浜風		打 数	安 打	打 点	通算 打率	湘南		打 数	安 打	打 点	通算 打率
守	氏名					守	氏名				
2	本末	3	2		.429	8	佐藤寿	3			.000
6	工藤	2			.333	1	柴田	3	1		.333
5	軽部	2			.000	2	石川誠	3			.286
1	乙戸	2	1	1	.250	7	小嶋	2			.333
3	伊藤慎	2			.143	3	中路	2	1		.375
8	瀧澤	2			.333	9	富田	2	1		.286
4	樋高	2			.333	5	廣野	1			.167
7	渡部	2			.167	D	網倉	2			.200
9	尾野	2			.000	6	田端	2			.000
D	弘中	1			.000	D	関根	2	1		.286
						4	古川	1			.000
						D	谷田	2			.000
チーム計		20	3	1	.150	チーム計		25	4		.160

※守備位置はスタート時

投手 氏名	回 数	安 打	四 球	三 振	自 責	投手 氏名	回 数	安 打	四 球	三 振	自 責
乙戸	7	4	1	1		柴田	6	3	2	4	1
チーム計	7	4	1	1		チーム計	6	3	2	4	1

桜の木が無くなってしまった清川村グラウンドで、浜風と湘南による白熱した投手戦が繰り広げられた。1回表、浜風先発乙戸は味方失策で走者を出すも後続を抑え上々の立ち上がり。その裏、1番本末の内野安打、2番工藤の犠打で好機を作ったところで、4番乙戸の左越二塁打が飛び出し浜風先制。湘南柴田の立ち上がりを攻める。2回表、この回先頭の中路が左越安打で出塁後、失策・犠打で1死23塁の好機を作るも、後続が三振・内野ゴロで倒れ無得点。そして試合はこのまま浜風乙戸、湘南柴田の投手戦に発展。共に3塁を踏ませない白熱した試合となり、気付けば7回を1時間16分という超スピードゲームとなった。これで浜風は開幕から3連勝。港と並び、リーグを牽引する形となった。尚、MVPは7回完封&勝利打点を上げた乙戸が選出された。(浜翔：山脇)

第2試合【2回戦】港2勝

港，雨天を制し，投打で浜翔を圧倒

	(1)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	計	安打
港	0	1	3	1	1	0	0	6	(9)
浜翔	0	0	0	1	0	0	2	3	(4)
	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)	(0)	(1)	審:五十嵐	

【勝】 斎藤 3勝

【S】川崎 3S

【敗】大川 3敗

MVP：清宮 V打点：高橋信

二壘打：川邊・清宮（港）



3安打3打点(清宮)

浜翔					港				
守	氏名	打数	安打	通算打率	守	氏名	打数	安打	通算打率
6	山脇	3	1	.125	8	菅和	4	2	.375
8	高木浩	3		.333	6	高橋茂	2		.000
2	長南	3	1	.429	2	川邊	3	1	.571
5	土門	2	1	.500	5	嶺井	4		.333
4	後藤	3		.250	4	川崎	3	1	.375
3	犬塚	3		.000	7	清宮	4	3	.600
7	片岡	3	1	.143	1	斎藤	3		.250
1	大川	3		.000	3	上原	3		.143
9	山田	3		.000	9	高橋信	3	2	.333
					D	椎野	3		.000

チ一ム計	26	4	3	.154	チ一ム計	32	9	6	.281
------	----	---	---	------	------	----	---	---	------

※守備位置はスタート時

投手 氏名	回 数	安 打	四 球	三 振	自 責	投手 氏名	回 数	安 打	四 球	三 振	自 責		
大川	4	6	4	2	4	斎藤	4	3		3	1		
後藤	3	3	1	1		川崎	3	1	1				
チーム計	7		9	5	3	4	チーム計	7		4	1	3	1

雨天による試合成立が心配される中、浜翔 vs 港の今季2回戦。浜翔大川、港斎藤先発の初回は、双方零封と順調な立ち上がり。2回港は安打出塁の川崎を、高橋信の右前適時打で迎え入れ先制。続く3回にも菅の右越安打から連続四球の押し出しと、清宮の2点適時打で3点を追加。その後4回にも1点、5回にも救援の後藤を攻め、失策出塁走者を再び清宮の適時打で迎え入れ1点追加し浜翔を突き放す。対する浜翔は4回、内野安打出塁の山脇を土門の適時打で返し1点反撃、また最終7回、犬塚の謎の威嚇による盗塁補助や、港内野陣の失策により救援の川崎を攻め立て、片岡の適時打や内野ゴロ間の生還好走塁等で2点を返すも、川崎に後続を断たれ勝負あり。MVPは3安打3打点の大活躍を見せた清宮が選出された。(浜風：本末)

第3試合【2回戦】港南2勝

佐久川の好投で港南が競り勝ち。浜友は走塁死が響く。

	(1)	(0)	(1)	(3)	(2)	(1)	(0)	計	安打
浜友	0	0	1	1	1	0	0	3	(8)
港南	1	2	0	0	0	1	x	4	(8)
	(2)	(4)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	審:	
【勝】佐久川					1勝(1)				
【敗】岩田					1敗				
MVP: 佐久川					V打点: 小林隆				
二塁打: 磯(浜友)									



7回完投(佐久川)

港南						浜友							
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率		
6	大谷	3	2		.625	4	清水	3	1		.167		
8	亀田宏	1			.600	3	磯	3	1	1	.375		
1	佐久川	3	1		.333	6	石川伸	2	2		.600		
2	小林隆	3	1	1	.444	2	井上	3	1		.333		
D	新川	3	1	1	.286	5	大石	2			.200		
3	成田	2			.000	9	岩田	2			.167		
D	高橋幹	2			.167	7	入江	3			.200		
5	金森	1			.000	D	岡崎	2			.000		
7	河原	2	1		.167	D	高畠	3	1		.143		
4	中上	2	1		.167	8	白井	1			.200		
D	佐々木	2			.000	D	山中	2	1		.333		
9	市之瀬	2	1	1	.167	1	早川	2	1	1	.333		
チーム計		26	8	3	.308	チーム計		28	8	2	.286		
※守備位置はスタート時													
投手 氏名		回数	安打	四球	三振	自責	投手 氏名		回数	安打	四球	三振	自責
佐久川		7	8	4	6	2	早川		4	6	2	4	3
							岩田		2	2	1	3	1
チーム計		7	8	4	6	2	チーム計		6	8	3	7	4

浜友は早川、港南は佐久川が今季初先発。港南は初回、新川の適時打で先制すると、2回には死球と2本の内野安打に失策が絡み2点を追加。対する浜友は3回に敵失で1点を返すと、4回には清水、磯の連打で1点を返し、さらに無死二塁から石川伸が中前に。二走・磯が本塁に突っ込むも憤死で1点差のまま終盤へ。2戦連続で継投が乱れた港南は佐久川続投を選択して迎えた5回表、浜友は下位打線が奮起し、四球の岡崎を山中、早川の連打で返し同点に追いつく。しかし、6回裏、港南は浜友2番手・岩田を攻め、安打で出塁した大谷を三塁に進めると小林が左前に勝ち越し適時打を放ち勝負あり。MVPは7回完投で初勝利の佐久川。浜友は4回無死二塁の無理をする必要のない場面での走塁死が響いた。(港：菅)

チーム成績																
	試合	勝利	敗戦	引分	勝点	勝率	G差	安打	HR	得点	失点	打率	出塁率	失策	OIP	
港	3	3	0	0	6	1.000		23		19	9	.291	.406	6	0	
浜風	3	3	0	0	6	1.000	0.0	15		20	12	.211	.371	6	1	
港南	3	2	1	0	4	.667	1.0	22	1	12	12	.289	.379	6	1	
湘南	3	1	2	0	2	.333	1.0	14		11	13	.189	.348	5	2	
浜翔	3	0	3	0	0	.000	1.0	12		11	23	.174	.278	7	0	
浜友	3	0	3	0	0	.000	0.0	18		11	15	.250	.365	3	0	

チーム勝敗表						
	港	浜風	港南	湘南	浜翔	浜友
港					〇〇	〇
浜風				〇〇	〇	
港南				●		〇〇
湘南		●●	〇			
浜翔	●●	●				
浜友	●		●●			